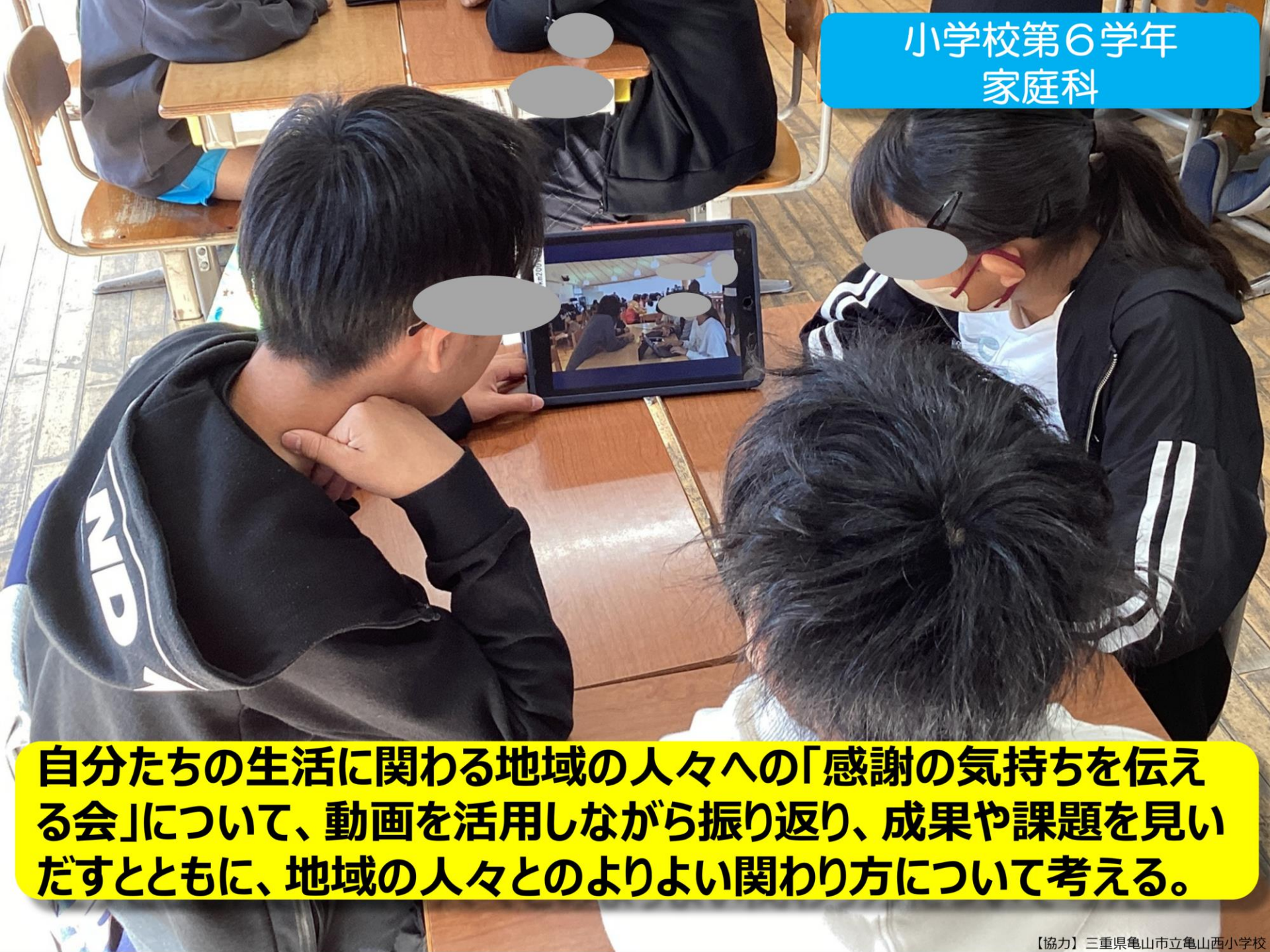




自分たちの生活に関わる地域の人々への「感謝の気持ちを伝える会」について、動画を活用しながら振り返り、成果や課題を見いだすとともに、地域の人々とのよりよい関わり方について考える。

小学校第6学年 家庭科 「地域の人々に感謝の気持ちを伝えよう」

■ 題材の目標

自分たちの生活は地域の人々との関わりで成り立っていること、地域の人々との協力が大切であることを理解し、地域の人々とのよりよい関わりについて考え、工夫することができる。

■ 題材の概要

自分たちの生活が地域の人々との関わりで成り立ち、協力していくことの大切さを理解した児童が、地域の人々との関わりを見つめ直し、「感謝の気持ちを伝える会」の計画、実践を通して、今後の家庭生活における地域の人々とのよりよい関わり方について考える。

■ 題材の指導計画（7時間）

（事前準備）

- ・地域との関わりについて、児童が認識していることや家族に聞いた内容のアンケート調査を行う。

第1・2時

- ・自分たちの生活が地域の人々と関わりをもちながら成り立っていること、地域の人々との協力が大切であることを理解する。
- ・地域の人々との関わりについて問題を見いだし課題を設定する。

第3～5時

- ・地域の人々に感謝の気持ちを伝えるために、自分たちに何ができるのかについて話し合う。
- ・話し合いを踏まえ、地域の人との関わりを深める機会について、話し合いながら企画する。

第6時

- ・「感謝の気持ちを伝える会」を実施し、個人で振り返る。

第7時

- ・個人での振り返りをグループで共有しながら、新たに気付いたことを話し合い、全体でも共有する。
- ・今後の家庭生活における地域の人々とのよりよい関わり方について考える。

■ 題材の概要

地域の人々に支えられながら生活していることを自覚していない児童の実態を踏まえ、その大切さを自覚できるようにするために、家庭生活や学校の教育活動（通学の見守り、図書ボランティア等）に関わっている地域の人々がどのような思いで活動しているかについて、教師が事前に撮影したインタビュー動画を視聴し、地域の人々との関わりに対する意識の低さに気付く。

「感謝の気持ちを伝える会」では、地域に関するクイズや感謝の手紙を読むこと等を通して、自分たちの気持ちを伝える。また終了後、地域の人との関わりが深められたのかについて、個人の振り返りを行う。

客観的に会を振り返るために動画や、地域の人々から寄せられた会の感想を振り返りながら、新たに気付いたことを話し合い、全体でも共有する。また、話し合いを通して、地域の人々との関わりは、日常の中で大切にしなければならないと気付いた児童が、家庭生活における地域の人々とのよりよい関わり方について考え、全体で共有する。

■資質・能力が育成され「深い学び」が実現している子供の姿（第7時）

【学習活動の場面】

自分たちの生活に関わる地域の人々への「感謝の気持ちを伝える会」の後に行った個人での振り返りをグループで共有する。その際、当日撮影した動画や地域の人々から寄せられた感想から、新たに気付いたことを話し合い、全体で共有する。さらに、今後の家庭生活における地域の人々とのよりよい関わり方について考える。

【子供の「深い学び」の姿】

当日の様子を撮影した動画や寄せられた感想から、新たに気付いたことについてグループで話し合った。

教師は、地域の参加者の様子を客観的に振り返ることができるようにするために「地域のみなさんの表情にも着目しながら振り返ってみましょう。」と発問した。

A「地域のみなさんは、笑顔だし、楽しそうだね！」

B「でも、見て。（動画を一時停止する）当日は気づかなかったけれど、いまいち楽しそうではない人もいるよ…。」

A「本当だ。会の運営に夢中で気付かなかった。」

C「（画面を指しながら）これ見て。『もっとたくさん話したかった』と感想に書いてある人がいるよ。もっと関わりたかった人もいたのかも。」

グループでの気づきを全体で共有した後、さらに議論を深めた。

教師は、設定した課題に立ち返って考えることができるよう、「地域の人々との関わりを深めることができたのだろうか。」と投げかけた。

B「自分たちだけが満足した会になってしまっていたのかも。」

D「そうかもしれないね。ただ、この会を地域のみなさんと関わるきっかけにして、これから先、自分たちから積極的に関わっていけばいいと思います。」

E「普段の生活の中でも、挨拶とかできることがあるかもしれないね。」

Bは題材を振り返り、次のように振り返った。

B「地域の人と関わって、協力しながら生活していくことが大切だということが分かりました。これからは、自分から地域の人に挨拶をしたり、話しかけたりして、もっと地域の人たちと仲良くなって、関わりを深めていきたいです。」

【当該指導での「深い学び」】

Bは、動画を活用して会の様子を客観的に振り返り、新たに気付いたことをグループや全体で話し合うことを通して、自分の生活が多くの人々と関わって成り立っていることを実感することができた。

さらに、全体の議論も踏まえて、自分から積極的な挨拶を行うこと等を通じて地域の人々との関わりを、更に深めるための実践につなげようとする姿が見られた。

■指導上の工夫とICTの利活用

①地域の参加者からの感想をデータで全体にフィードバックすることで、すべての児童が、参加者の感想を把握し、各グループでの話し合いに生かすことができる。

②動画を活用した会の振り返りを通して客観的な課題を認識するとともに、実施目的である、地域の人々とのよりよい関わり方についての議論を深めた。

* 会の実施運営が主目的ではなく、振り返りを通じた地域の人々との関わりに関する議論が本実践のポイントであり、客観的な振り返りのための動画が深い議論を可能にしている。



学習指導要領との関連

小学校学習指導要領 第2章 第8節 家庭

第2 各学年の内容

〔第5学年及び第6学年〕

1 内 容

A 家族・家庭生活

(3) 家族や地域の人々との関わり

ア 次のような知識を身に付けること。

(イ) 家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることが分
かり、地域の人々との協力が大切であることを理解すること。

イ 家族や地域の人々とのよりよい関わりについて考え、工夫するこ
と。